

平成 24 年第 6 回加西市教育委員会会議録

1. 開会日時 平成 24 年 6 月 26 日 (火) 13 時 30 分
2. 閉会日時 同 日 15 時 45 分
3. 開催場所 加西市役所 5 階会議室 (大)
4. 出席委員
委員 長 荒 木 貴 子
委 員 市 場 かおり
委 員 渡 邊 隆 信
委 員 内 藤 堯 雄
教 育 長 永 田 岳 巳

5. 委員及び傍聴人を除き、会場に出席した者の氏名

教育次長	大 西 司
市参事兼こども未来課長	立 花 聡
学校教育課長	小 林 剛
文化スポーツ課長	深 江 克 尚
総合教育センター所長	柿 本 博 司
図書館長	村 岡 敏 弘
教育総務課長	中 倉 建 男
教育総務課課長補佐	高 井 聡 子

6. 付議事項

議案第 3 4 号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

議案第 3 5 号 平成 2 3 年度加西市教育委員会点検評価について

7. 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8. 質問及び討議の内容

議案第 3 4 号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

議案第 34 号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について、学校教育課長より、加西市心身障害児就学指導委員会規則第 2 条の規定により、12 名を委嘱するもので、任期は平成 24 年 7 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの期間で、内訳は、1 号委員として、

加西特別支援学校医、加西病院精神科副部長を、2号委員として、中学校長代表、北条・善防・加西・泉中学校区就学指導委員代表の4名と加西特別支援学校長及び教頭を、3号委員として、中央こども家庭センター育成支援課長を、4号委員として、こども未来課長と学校教育課長をそれぞれ委嘱することを説明する。

教育委員より、継続の人もいるのかとの質問があり、学校教育課長より4名が継続であると説明する。

教育委員より、幼稚園から小学校へ、小学校から中学校へ進学するどの段階で就学指導するのかとの質問があり、学校教育課長が、幼稚園から小学校、小学校から中学校、中学校から特別支援学校高等部への進学時に実施すると説明する。

以上をもって、原案のとおり承認された。

議案第35号 平成23年度加西市教育委員会点検評価について、

議案第35号平成23年度加西市教育委員会点検評価について、教育総務課長より、評価委員会における審議を行うため、教育委員会による評価を別紙のとおりとすることにつき、委員会の議決を求めるものであることを説明する。

教育委員より、重点目標5、実践目標1の課題におけるトライやる・ウィークの表現の一部について、訂正の意見があり、一部文言修正をもって承認される。

9. 議決事項

議案第34号 加西市心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

原案どおり可決

議案第35号 平成23年度加西市教育委員会点検評価について

一部修正のうえ可決

10. 報告事項

(1) 教育長の報告

教育長より、5月31日から6月21日に開かれた第242回平成24年6月加西市定例議会の主な案件について報告をする。まず、人事案件として加西市教育委員会委員の任命について同意をいただいたことを説明する。次に、質疑として、北条中学校体育館耐震補強工事で、防災拠点としての観点からの改善箇所について質問があり、柱・壁の補強や入口のバリアフリー化や屋根の遮熱塗装、及びトイレの改修に取り組むことを説明したこと、さらに

今後の教育施設耐震補強計画について質問があり、本年は宇仁小学校、来年が泉中学校と善防中学校の改修にとりかかり、幼保施設は統合・再編を視野に入れ小中学校に引き続いて計画的に進めると説明したことを報告する。

続いて、一般質問として7項目の質問があったことを報告する。主なものとして通学路の安全点検については、他部署で通学路改善のための補正予算がついており、教育委員会としては本年5月に通学路調査を完了しており、課題や内容の現状を代表区長会で配布し、各地区の参考としてもらう予定であることを報告する。次に、今後の課題として、人材育成基金や文化スポーツ振興基金の活用と合わせて加西市教育ファンドの創設が検討されていることを説明する。

次に、「加西ふるさと夏ミーティング2012」が6月24日から始まっており、小学校区ごとに行われ、前半に教育委員会が中心となって子ども子育てと青少年支援について、後半はふるさと創造課が一般的な校区の要望事項を議論する形で実施されていると報告する。24日の西在田地区では泉第三保育所の件があり、教育委員会としては無理に統合することは考えておらず、安全確保を第一に考えて欲しいという提案をしつつ、最終的に保護者の意見を尊重しながら、強制はしないができれば早い段階で移動していただきたいと話したことを説明する。本日は宇仁地区があり、今後7月11日の在田地区まで予定されており、次回定例教育委員会で内容の報告をすると説明する。

(2) 市参事兼こども未来課長の報告

市参事兼こども未来課長より、「保育所及び市立幼稚園多子世帯保育料軽減事業補助金交付要綱」の一部を改正する教育長訓令の制定について、題名中「保育所及び市立幼稚園」を「加西市」に、第1条中「保育所および市立幼稚園の利用について」を削り、「第3子」を「第2子」に、第2条を文言の整理を行って資料のとおり、第4条中「市長が徴収する保育料」を「保育料の月額」に、「6,000円」を「5,000円」に、第7条第1項中「別記様式第1号又は様式第2号」を「加西市多子世帯保育料軽減事業補助金申請書」に、別表第1及び別表第2を資料のとおりそれぞれ改めるというもので、修正の要因としては、県が実施している兵庫多子世帯保育料軽減事業が金額変更をすることに合わせて拡大したためと、市で独自事業として第2子の保育料軽減に取り組み、今年度から始まったためであることを説明する。実績としては、平成23年度は、対象児童が72名あり、約270万円の支出があったこと、今年度は、拡大したために約315名が対象となり、1,800万円程度が必要になる見込みであると説明する。

続いて、加西市私立幼稚園就園奨励費補助金交付基準の一部を改正する教育長訓令の制定について、私立幼稚園保育料について保護者の負担軽減をはかるものであり、国の補助金内容の一部変更に伴う補助金額の変更であることを報告する。主な変更点は、国に準じて補助金の年額等の対象枠が3,000円程度増えたことに伴う金額変更であり、また、保護者の市民税の所得割額を基準にして一定の制限を設けたうえで、多子の小学校3年生までの子供がおられる家庭について補助をするもので、年度末に補助金を支出する予定であると説明す

る。

次に、幼保施設のAED設置について、昨年度まで北条西保育所と賀茂幼稚園のみの設置であったが、今年度新たに全幼稚園・保育所・幼児園施設へのAED設置を完了したことを報告する。本体は小児対応で、自動的に電源が入るなど簡単操作ができるものを選択し、職員には使用方法にかかる研修を行っていることを説明する。

(3) 教育総務課長の報告

教育総務課長より、教育施設耐震化工事等の進捗状況について、教育施設耐震化事業等進捗状況一覧表により説明する。宇仁小学校地震改築工事設計委託については、実施設計中で50%の出来高であり、北条中学校体育館耐震補強工事は、24年6月21日に議決を得て、準備工事を行っており、また、日吉小学校体育館耐震補強工事については、6月12日に柏原建設と契約し、準備工事を行っており、補強内容は、ブレース6箇所と、屋根面全体にブレース補強を行う工事であることを説明する。

次に、平成24年度格差是正営繕工事及び備品購入計画について、幼稚園・保育園の改修工事については、部分的に兵庫土建に施工を依頼し、小学校・中学校・特別支援学校の修繕・備品については格差是正営繕工事及び備品購入要望書一覧表により内容を説明する。教育委員より、中学校生徒用機の購入予定について質問があり、教育総務課長より、学校の要望数どおりには予算の問題もあり対応できないので、数量を減らして購入を計画していると説明する。また、教育委員より、特別支援学校の修繕について、生徒の現状を鑑みてブラインド工事の優先順位変更の要望があり、教育総務課長より他の工事とブラインド工事の優先順位を変更すると回答する。

続いて、教育総務課長より、情報公開について、加西市体育施設指定管理者㈱ホープの指定管理者指定申請書一式について、情報公開申請があり部分公開を行ったこと、また、加西市教育施設耐震診断補強計画委託業務補強工法について、情報公開申請があり公開を行ったことを報告する。

(4) 学校教育課長の報告

学校教育課長より、児童生徒の学校生活について、小中学校ともにプール開きがあり、各校プール指導を行っていること、さらに、今後の予定として、7月20日には終業式があり、夏季休業のあと9月3日に始業式があることを報告する。さらに、小学校では7月23日から教育相談が、中学校では7月12日から1週間程度で三者面談があることを説明する。

次に、7月27日（金）に市民会館において、ロータリークラブ主催で特別支援教育の武田講師による講演会を開催し、5市1町の教育委員会に案内を送り、1,000人規模の参加予定であることを報告する。

続いて、トライやる・ウィークについて、平成10年度から始まり15回目を終了した節目でもあり、8月に4中学校で代表を含めて懇談を持ち、今後のあり方や事業所の拡大、推

進協議会のあり方、子供たちの希望の優先方法等について検討をしていく予定であることを報告する。来年度は6月第1週の月曜日から実施予定であり、体験だけではなく事前事後指導、事後学習を含め一層充実をさせていきたいと説明する。

(4) 文化スポーツ課長の報告

文化スポーツ課長より、加西市民スポーツアンケートについて、7月3日に加西市民スポーツ意識調査報告会を健康福祉会館で開催し、平成23年度に市内の成人3,000人を対象に実施したアンケート結果について、環太平洋大学の講師2名を招いて分析結果報告等の講演を行っていただくものであることを報告する。なお、環太平洋大学との連携については、平成23年度から25年度のスポーツ振興基本計画の策定の計画を行っており、加西市のスポーツ推進についてのあり方を市内のスポーツ団体との協議を行いながら進めていることを説明する。

続いて、ひょうご民俗芸能祭 IN かさいについて、市制45周年記念事業ということで、県の平成24年度ふれあいの祭典県民文化普及推進事業のひとつであるひょうご民俗芸能祭を、加西市で開催するものであることを報告する。内容としては、8月5日にひょうご民俗芸能祭加西市実行委員会の主催により加西市民会館文化ホールで開催するもので、市内外の団体が出演される予定であることを説明する。

(5) 総合教育センター所長の報告

総合教育センター所長より、東播磨・北播磨地区PTA指導者研究集会開催について、7月14日に加西市健康福祉会館で平成24年度東播磨・北播磨地区PTA指導者研究集会北播磨大会を開催するもので、北播磨管内のPTAが主体となり、学校・家庭・地域がともに子どもの未来像を描き、今すべき教育支援を考え、地域の教育力を高めるための基盤づくりを推進することを趣旨に行われることを報告する。参加者は、5市1町のPTAの指導者400名が見込まれ、実践発表や「ひょうご笑いの会」事務局長の講演が予定されていることを説明する。

(6) 図書館長の報告

図書館長より、加西市史特別講演会について、6月9日にアステシア加西で市制45周年記念事業として市史の特別講演会を行い、62名の参加者があり、講演の内容を図書館のオープンミュージアムで6月29日までパネル展示していることを報告する。

次に、泉中学校出前講座について、子どもの読書離れ、図書館離れが指摘される中で本に関心を持つきっかけをつくろうと、図書館が年に1度市内の中学校を回っているもので、今年度は6月15日に泉中学校で1年生92名を対象に、「つながり」をテーマに職員やボランティアが本の紹介や貸し出しのサービスを行ったものであることを報告する。

11. 協議事項

報告事項の中から

○トライやる・ウィークについて

教育委員より、トライやる・ウィークで「キャリア教育」という言葉が推進委員会の中で出てきており、特別支援学校でも学校に合ったキャリア教育に取り組んでいるようであり、小学校から中学校まで新しい試みで実践して取り組んでいる学校もあり、期待できると述べる。

教育委員より、トライやる・ウィークでは事前と事後の指導が充実してきているということで、事業を終えた後の指導が大切ではないかと考えると述べる。

○幼保施設のAED設置について

教育委員より、幼保施設のAED設置について、これで幼保設置がすべて完了なのか、またその他教育委員会所管施設ではすべて設置済かとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、幼保施設への設置はすべて完了となり、教育委員会施設では幼保が最終となっていると説明する。

教育委員より、AEDの使用方法について保護者対象の研修があるかとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、特になかったので対応も考えており、必要であれば消防に依頼して講習の機会を設けたいと説明する。さらに、学校教育課長から、幼小連携で幼稚園の教諭も小学校の教諭とともに、人工呼吸やAEDの使い方を研修しており、また夏休みのプール開放に伴い、参観日に消防署による3時間講習を行っているという説明をする。

○「保育所及び市立幼稚園多子世帯保育料軽減事業補助金交付要綱」の一部を改正する教育長訓令の制定について

教育委員より、「保育所及び市立幼稚園多子世帯保育料軽減事業補助金交付要綱」の一部を改正する教育長訓令の制定について、認定こども園に文言が統一されているが幼稚園の表現は不要かとの質問があり、市参事兼こども未来課長より、認定こども園は3園あり、加西市独自の幼稚園は公立が使用している保育所と幼稚園を一緒にした名称であると説明する。

○「加西ふるさと夏ミーティング2012」について

教育委員より、「加西ふるさと夏ミーティング2012」について、参加率はどのようであるかとの質問があり、教育長より、まだ1か所しか終わっていないが、PTA、保護者会の役員や区長さんなど校区の役員が多く、地区によっても変動があるのではないかと説明する。

12. 教育委員の提案

教育委員より、子どもの読書離れ、図書館離れについて、図書館で幼児と小学生はよく見かけ、中学生の利用が少ないと思われるが、中学生の利用状況はどの程度か、また、中学生を対象に図書館に足を運ばせる工夫や企画を検討いただきたいとの要望があり、図書館長より、中学校については学校の担当者と年2回程度の打ち合わせ会議を行い利用の呼びかけを行っていることを説明する。また、学校教育課長より、7月12日の午後に北条高校の生徒約30人が富田小学校を訪問して、全校生に読み聞かせ会を実施することを報告し、これは、県の推進事業の一環でもあるが初めての試みで、小中高の連携という意味でも進めていきたいと説明する。

教育委員より、読み聞かせる立場になると、いろいろな本を探して読み、視野が広がり、内容について慎重に解釈をすることも考えられることから積み重ねていくとよいと思うと述べる。

教育委員より、北条高校の取組は県の施策のひとつであるのかとの質問があり、学校教育課長より、中高連携の推進事業の一つに組み入れられそうであるということで進めていると説明する。

教育委員より、加西市には教育都市実現という目標があり、教育長が0歳から15歳までということを言われて、教育の重点も学校に掲示されて方向性を示され、目標実践に向かっていると感じている。そこで、もっと焦点化して行って、子供たちが学習していくムードを盛り上げるために、あいさつを子供から家庭や地域に広げることが可能ではないか、子供たちの学習モードを盛り上げるため、着実にやっていけて実践できるものとしてあいさつが一つの切り口になるのではないかと提案がある。教育長より、青少年健全育成会等により地域全体で取り組む「あいさつ運動」や「地域見守り運動」を進めていただいております、また、24年度は学校から「あ・い・う・え・お運動」を各家庭で行っていただくよう指導をしており、教育委員会からの指示ではなく学校から盛り上げていただく形で実施していきたいことを説明する。

教育委員より、6月14日に兵庫県女性教育委員研修会に参加し、取り入れたら良いのではと感じる施策があり加西市でも検討できるか、また、教育委員会点検評価について加西市が熱心に取り組んでいると感じ、広く市民に周知するために、ホームページだけでなく「かさい教育ねっと」等に掲載するのも良いのではないかと提案がある。教育長より、他市の施策については地域の特性を鑑みながら参考にさせていただきたいこと、行っていることの成果は「かさい教育ねっと」を通じてお知らせをしていきたいと説明する。

13. 今後の予定について

- ・第7回定例教育委員会 7月24日（火） 13:30～ 1階多目的ホール
- ・第8回定例教育委員会 8月24日（金） 13:30～ 1階多目的ホール

この会議録は、事務局職員が作成したものであるが、真正であることを認めここに署名する。

平成24年6月26日

出席委員

(出席委員署名)